

令和7年度版「中学道徳 とびだそう未来へ」

1年 年間指導計画・評価の視点 (案)

○本表は、4・6・11・1・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。

○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それに替えて郷土資料等を活用したりすることを想定しています。

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問 (○は導入)	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
4 月 ③	1 ともだち 「高め合う友情の尊さ」 【B 友情、信頼】	1	教材から想起される様々な友達の姿や、友達との関係から得られることについて分かち合うことを通して、友達がいることのよさについて考えを深め、高め合える人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	1 「友達」について抱いているイメージを出し合う。 ○友達と、そうでない人との違いはなんだろう。 2 「ともだち」を読み、友達のよさと、その関係を維持するために必要なことについて話し合う。 ●友達がいることで、どんなよいことがあるだろう。 ●お互いにとってよい友達関係を続けるために、必要なことはなんだろう。 3 今後、自分がどのように友達と関わっていくべきか、考えをまとめる。 ●これから出会う新しい友達と、どのように接したらよいだろう。	【多面的・多角的に考える】 「友達」に対するイメージや友達がいることのよさ、友達との関係から得られると思うことなどについて、他の人の意見にふれながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「友達」という存在に対するイメージを描いたり、今後、友達とどのように接していくべきかを考えたりする際に、具体的な学校生活の場面を想起しながら考えている。	美術、特別活動	
	2 おはよう 「心と形」 【B 礼儀】	1	挨拶の意味を考えることを通して、礼儀の意義を理解し、相手を尊重する気持ちをもって、時と場に応じた適切な言動をとろうとする実践意欲と態度を育てる。	1 「礼儀」について、イメージを出し合う。 ○「礼儀」とは、どのようなものだろう。 2 「おはよう」を読み、挨拶について考える。 ●「私」は、「先生だということを知りませんでした。」という少年の言葉を思い浮かべた時、どんなことを考えたのだろう。 ●「形だけの挨拶をする」と、「黙っていても相手を思っている」と、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。 3 挨拶について考えたことをもとに、今後どのようにしていきたいか、考えをまとめる。 ●挨拶をするときに、あなたはどんなことを大切にしたいと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 挨拶を単なる言葉と捉えず、形にこめられた価値や、相手を思う心を、日常の様々なことから考えている。 【自分ごととして考える】 挨拶について自分なりに考え、礼儀の大切さに気づき、これからとるべき態度について、自分自身との関わりの中で考えを深めている。	技術・家庭、特別活動	
5 月 ③	3 「どうせ無理」をなくしたい 「夢や目標を諦めない」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	「どうせ無理」と言われた夢を実現させた植松努さんの生き方を学ぶことを通して、より高い目標をもってその達成を目指し、希望と勇気をもって着実にやり遂げようとする心情を育てる。	1 やる前から諦めてしまった経験を想起する。 ○やる前から「どうせ無理」だと諦めてしまったことはあるだろうか。 2 『『どうせ無理』をなくしたい』を読み、目標を達成するために大切なことについて、考えたり話し合ったりする。 ●植松さんは、「無理」と言われていたことをどうして実現できたのだろう。 ●夢や目標を達成するために大切なのは、どんなことだろう。 ●あなたの夢や目標はなんだろうか。 3 夢や目標に向かってどのように生活していこうと思うか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 より高い目標をもってその達成を目指すことの大切さについて、植松さんの生き方や心情を理解しながら他の人と意見を交流し、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 夢や目標を達成するためには、諦めない心が大切であることを植松さんの生き方から学び、希望と勇気をもってやり遂げようとする意欲を高めている。	特別活動	目標9

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
5 月 ③	4 二人の言い分 「相手の立場に立って」 【B 相互理解、寛容】	1	いじめの定義や法について理解し、いじめを生まないためのトラブルの解決方法について話し合うことを通して、相互理解の大切さに気づき、相手の立場に立って考え行動しようとする判断力を養う。	1 いじめについて考える。 ○なぜ、いじめは起こるのだろうか。 2 「二人の言い分」の前半（教科書 p.22～23）を読み、ハルトとリヨウマのトラブルについて整理する。 3 教材の後半（教科書 p.24～25）を読み、いじめの定義を知り、二人はどうすればよかったかを考える。 ●「された人が心身の苦痛を感じている行為はいじめ」ということから、ハルトとリヨウマの言い分について考えてみよう。 ●ハルトとリヨウマは、それぞれどうすればよかったのだろうか。 4 相互理解のための話し合いや、寛容に受け止めようとすることの大切さについて考える。 ●いじめを生まないためにはどうすればよいか、トラブルが起こってしまったらどうすればよいか、考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 ハルトとリヨウマそれぞれの立場に立ち、どうすればこのトラブルを回避できたかを考えることで、捉え方や感じ方は人によって違うことに気づき、相手の立場に立った言動をとろうとする意欲を高めている。 【自分ごととして考える】 いじめを誰にでも起こりうる問題として捉え、いじめを生まないために必要な、互いを理解し寛容に受け止めようとする姿勢の大切さについて考えを深めている。	社会、保健体育、特別活動	目標 16
	5 あなたならどうしますか 「いじめをなくすために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	中学校生活で起こりそうな二つの問題場面から、いじめをなくすために大切なことについて考えることを通して、正義を重んじ、誰に対しても公正に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 「正義」について抱いているイメージを話し合う。 ○「正義」という言葉から、どんな人や物事を連想するだろうか。 2 「あなたならどうしますか」を読み、正人や葉月がすると思うことについて考える。 ●あなたが正人や葉月の立場だったら、どうするだろう。それは、なぜだろう。 ●正しいと思ったことを行動に移せないことがあるのは、なぜだろう。 ●いじめをなくすために今すぐにでもできることは、どんなことだろう。 3 今後、いじめや差別に対して自分はどう行動していきたいか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 いじめをなくすための行動や、その際に大切にすべきことについて、正人や葉月の立場を自分に置きかえたり、被害者の気持ちを想像したりしながら、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 差別や偏見のないよりよい社会の実現のために、自分なりにできることを考え出し、大切にすべき心情や態度について、考えを深めている。	特別活動	目標 16
6 月 ④	6 いのちを考える 「生命の重さ」 【D 生命の尊さ】	1	他の生命との関係性の側面から、生命の尊さについて考えることを通して、生命の価値について考えを深め、生きとし生けるものの生命を尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 生き物と自分との関わりを考える。 ○人、動物、植物……、全ての生き物に共通していることは、なんだろう。 2 「なぜ殺してはいけないのか」を読み、「いのち」の尊さを身近な生活に落としこんで考える。 ●「なぜ殺してはいけないのか」、自分なりに考えよう。 ●「いのちなしには生きられない」、この言葉を、あなたは どう受け止めただろう。 3 「いのち」について考えたことをまとめる。 ●「いのち」について考えたことをまとめよう。	【多面的・多角的に考える】 自他の生命を大切にすることについて、多様な価値観を受け止めながら、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の身のまわりの生き物の生命について改めて考え、様々な意見を受け入れながら、生命の尊さについて考えを深め、支え合い生かされていることへの感謝の思いを深めている。	理科、技術・家庭、総合的な学習	目標 14 目標 15
	7 自分で決める 「自由と責任」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	部活をやめようか迷う陽香里へのアドバイスについて、話し合いを通して考え、一つの判断には責任が伴うことに気づき、自分の行動に責任をもとうとする判断力を育てる。	1 「自由」について抱いているイメージを出し合う。 ○「自由」という言葉から、どんな人や物事を連想するだろうか。 2 「自分で決める」を読み、自由に選択することに伴う責任について話し合う。 ●陽香里は、吹奏楽部をやめようと瑠花に誘われて、なぜ迷っているのだろうか。 ●あなたなら、このあと陽香里にどのようなアドバイスをするだろうか。 3 今後自分がどのように判断していくべきか、考えをまとめる。 ●「自分で決める」ときに大切なのは、どんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 自らを律し自らの行為の結果に責任をもつために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 自分の意志に基づく判断によって生じた義務を、忠実に果たすために必要なことについて、自らの経験や今後の生活と重ねて考えている。	保健体育、技術・家庭	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
6 月 ④	8 ごめんね、おばあちゃん 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉えることを通して、家族の一員としての自覚をもち、父母、祖父母に対する敬愛の念を深めようとする心情を育てる。	1 家族に対する考えを出し合う。 ○あなたはふだん、家族とどのように接しているだろうか。 2 「ごめんね、おばあちゃん」を読み、おばあちゃんに対する「僕」の気持ちの変化を考えたり、話し合ったりする。 ●「僕」は、夕飯の時に涙を流したおばあちゃんを見て、どう思っただろう。 ●「もう、おまへたちには、何もしてやれなくなった……。」とつぶやき、涙を流したおばあちゃんを、「僕」はどんな思いで見ていたのだろう。 ●家族の一員として、自分にできることにはどんなことがあるだろう。 3 家族に対して敬愛の念をもって生活するとはどのようなことか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 家族の一員としての自覚をもち、家族の中での自分の役割について他の人と意見を交流しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の心情の変化を共感的に捉え、家族の一員として大切にすべきことについて自らの経験と重ねて考え、父母や祖父母に対する敬愛の念を深めている。	社会、技術・ 家庭	
7 月 ②	9 難民とともに ～緒方貞子～ 「世界の人々のために」 【C 国際理解、国際貢献】	1	緒方貞子さんの決断や言葉について話し合うことを通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に貢献することについて考え、その実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	1 デジタル教材の動画を視聴し、緒方さんの活動の概要を知る。 ○遠い国で困っている人々を助けるとは、どのようなことなのだろう。 2 「難民とともに ～緒方貞子～」を読み、緒方さんの心の葛藤と大きな決断について考える。 ●緒方さんはどのような思いで「歴史を変える決断」をしたのだろう。 3 緒方さんの生き方や言葉から、緒方さんが私たちに伝えたいこと、私たちにできることを考える。 ●緒方さんが最後のスピーチで伝えたかったのは、どのようなことだろう。 ●私たちが世界の人々のためにできることは何か、緒方さんの生き方とおして考えてみよう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 国際的視野に立って難民の現状や世界の情勢に目を向け、世界の平和を望み、自分にはどのようなことができるか、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 緒方さんが大切にしたい思いを共感的に捉えながら、緒方さんが私たちに伝えたいことは何かを考えることを通して、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする思いを深めている。	社会	目標 10 目標 16
	10 ヤクーバとライオン 「気高く生きようとする心」 【D よりよく生きる喜び】	1	ヤクーバが葛藤の末、良心に従って選んだ道をその後どう思うか深く考えることを通して、真の勇気を誇りに思い、気高く生きようとする道徳的判断力を育てる。	1 自分が正しいと思うことをした経験を振り返る。 ○他の人に理解されなくても、自分が正しいと思うことをした経験はあるだろうか。 2 「ヤクーバとライオン」を読み、人間の強さ、気高さについて考える。 ●勇気を奮い起こそうとしていたヤクーバは、ライオンの話を聞いて、どんなことを考えただろう。 ●ライオンを殺さずに帰ったヤクーバは、自分が選んだ道をどのように思っているだろう。 3 自分が「よりよく生きる」とはどういうことか、考える。 ●あなたは、どんな時に自分の弱さを感じ、どんな時にこれでいいんだと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 「勇気」とは「怖がらずに相手を倒すこと」という一面的な捉えから、「今は他から理解されなくても、自分に恥じない行動をとる気高い精神」と見方を広げ、価値の本質、よりよく生きることについて深く考えている。 【自分ごととして考える】 ヤクーバの立場だったらどう判断するかを考え、これまでに自分の弱さに流されたことや自分の納得する道を選択した経験を振り返りながら、これからの生き方に思いをめぐらせている。	社会	
9 月 ③	11 裏庭のできごと 「誠実な生き方」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	自分の失敗を正直に報告できなかった健二の葛藤について考えることを通して、誠実に行動することで得られることに気づき、責任ある行動をとろうとする実践意欲と態度を育てる。	1 失敗した時の行動について、経験を出し合う。 ○人の意見に流されてしまったことはあるだろうか。 2 「裏庭のできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。 ●健二は職員室に向かう時、首を横に振りながら、どんなことを考えていたのだろう。 ●自分のまちがいを謝ることで、どんなことが得られるだろう。 3 自分で判断し行動する時に大事だと思うことは何か、考えをまとめる。 ●正直に行動できなくなりそうな時には、どんなことを第一に考えればよいだろうか。	【多面的・多角的に考える】 誠実に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、3人の登場人物の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 誠実に生きるために大事にすべきことについて、健二の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。		

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
9 月 ③	12 ルールとマナー 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	ルールとマナーについて、多面的・多角的に捉え考えることを通して、インターネット上のコミュニティーにおいても法やきまりにより秩序が保たれていることを理解し、自他の権利を尊重しながら、社会の秩序と規律を高めていこうとする判断力を育てる。	1 ルールとマナーの違いを考える。 ○なにげない日常のやりとりの中にもルールやマナーが必要なものは、どうしてだろう。 2 「ルールとマナー」のインターネット上の投稿を読み、何が問題なのかを考える。 ●アオイの投稿の何が問題だったのか、気がついたことを出し合おう。 ●ルールとマナーは、私たちの生活になぜ必要なのだろう。 ●ルールとマナーについて、私たちはどのようなことを意識して生活したらよいのだろう。 3 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 投稿の問題点を「ルール」「マナー」の視点や様々な立場から考えることで、ルールとマナーの多面性や必要性について、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 投稿の問題点を探り出し、自らの経験と重ねながら、自他の権利を大切にしつつ社会の秩序と規律を高めていくことについて考えを深めている。	社会、技術・家庭、特別活動	目標 16
	13 一日前に戻れるとしたら 「安全への配慮」 【A 節度、節制】	1	教材と体験をもとに、危険を回避するために必要なことについて考え、安全への配慮としてすべきことについて理解を深め、望ましい生活習慣を身につけようとする判断力を育てる。	1 「危険」について抱いているイメージを出し合う。 ○学校の中や外で「危険なめに遭った」と思ったことに、どんなことがあるだろうか。 2 「一日前に戻れるとしたら」を読み、危険を回避するために必要な姿勢や習慣について話し合う。 ●ここに出てくる三人の行動や考え方を比べてみて、共通する点や異なる点をあげてみよう。 ●学校の中や外で「危険なめに遭った」と思ったことについて、その少し前に戻れるとしたら何をするか、考えよう。 3 今後、自分がどのように安全と向き合っていくべきか、考えをまとめる。 ●安全に配慮して生活することで、どのようなことが得られるだろう。	【多面的・多角的に考える】 安全に配慮して生活するために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 身近な危険を振り返りながら、安全に配慮するというプロセスの中にある価値について、自らの経験や今後と重ねて考えている。	理科、保健体育、総合的な学習	目標 11 目標 13
10 月 ④	14 オリンピックの土俵をぞぎして 「自分らしく生きる」 【A 向上心、個性の伸長】	1	今日和さんの生き方から、好きなことを続けるために大切なことについて話し合うことを通して、自分の個性やよさについて考えを深め、向上していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1 自分らしく生きることについて考える。 ○自分らしく生きるとは、どういうことだろう。 2 「オリンピックの土俵をぞぎして」を読み、今さんの言葉や生き方から、向上心をもち続けることについて考える。 ●今さんが相撲を続けたのはなぜだろうか。その思いをあげてみよう。 ●自分がしたいことをするのが難しいとき、あなたはどうするだろうか。 3 自分のよさを伸ばすために大切なことについて考える。 ●自分のよさを伸ばし夢に近づくために大切なことは、どんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 好きなことを続けるために前向きに道を切りひらく今さんの言葉や生き方から、自分のよさを伸ばし夢に近づくために大切なことについて多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 今さんの言葉や生き方を通して、多様な生き方・考え方があることに気づき、自分の個性を伸ばし自分らしく生きていくためにどうしようと思うか考えを深めている。	保健体育	
	15 けやき中を誇りに 「学校に誇りをもつ」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	伝統の合唱コンクールに臨む姿勢を考えさせることを通して、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。	1 学校行事を通して先輩から学びたいと思うことを出し合う。 ○学校行事をとおして先輩から学びたいと思うことに、どんなことがあるだろう。 2 「けやき中を誇りに」を読み、自分たちの学校に誇りをもつとはどういうことか、話し合う。 ●クラスがまとまらなかった時、「私」はどんな気持ちだっただろう。 ●合唱コンクールをとおして「私たち」が得たものとは、なんだったのだろうか。 ●自分たちの学校に誇りをもつとは、どういうことだろうか。 3 学校生活を充実したものにするために自分たちにできることについて、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 学校生活を充実したものにするために必要なことについて、登場人物の心情を理解しながら様々な立場に立ち、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 先輩たちの伝統を受け継ぎ、クラスや学校の一員としての自覚をもって協力し合うことの大切さについて、「私」の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
10 月 ④	16 不自然な独り言 「思いやりの心」 【B 思いやり、感謝】	1	目の不自由な人と出会った時の「僕」の行動について考えるを通して、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもとうとする心情を育てる。	1 「思いやり」について考える。 ○「思いやり」とは、どのようなものだろう。 2 「不自然な独り言」を読み、「僕」の行動について考える。 ●「僕」はなぜ「不自然な独り言」を言って、これまた不自然にゆっくりと横断歩道を渡った」のだろう。 ●あなたが「僕」の立場だったら、どうするだろうか。 ●「思いやり」の気持ちを伝えるとき、どんなことを大切にしたいと思うだろうか。 3 「思いやりの心」をもつことの大切さについて、自分の考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 思いやりの気持ちをもち伝えようとするこの大切さについて、「僕」の心情や、自身の考え、他の人の考えを照らし合わせながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 親切をされる人の立場に思いをさせ、「思いやり」の気持ちを伝えるときに大切にしたいことについて、自分なりに考えを深めている。	保健体育、総合的な学習	目標3
	17 ショートパンツ初体験 in アメリカ 「個性を表現すること、受け入れること」 【B 相互理解、寛容】	1	今までの自己を脱却し強く生きようとする「私」の姿を通して、いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容の心をもって謙虚に他に学ぼうとする心情を育てる。	1 自分らしさを表現することについて考える。 ○周りの目が気になって自分らしさを出すのが怖いとき、あなたならどうするだろうか。 2 「ショートパンツ初体験 in アメリカ」を読み、個性を表現する、受け入れるとはどのようなことかを考える。 ●「私」は、なぜ「心の壁」を作ってしまったのだろう。 ●「個性を表現する」、「個性を受け入れる」とは、どういうことなのだろう。 3 個性を尊重するとはどのようなことなのかを考える。 ●みんなが「心の壁」を作らないようにするために、どんなことができるだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「個性を表現する側」、「個性を受け入れる側」など様々な視点から、心の壁を作らないようにするためにできることについて考えている。 【自分ごととして考える】 個性や立場を尊重すること、いろいろなものの見方や考え方があることについて、「私」の経験と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	社会、総合的な学習	目標10
11 月 ④	18 「ちがい」について考えよう 「尊重されるべきちがい、あってはならないちがい」 【C 公正、公平、社会正義】	1	個人や文化の多様性として尊重されるべきちがいと、公正、公平な社会の実現のためにあってはならないちがいの線引きを考えるを通して、差別や偏見のない、個人や文化の多様性を尊重する社会をつくらうとする道徳的判断力を育てる。	1 教科書p.96～97の活動を行う。 ○「公平」とはなんだろう。「平等」とはなんだろう。 2 4人程度のグループをつくり、ワーク1を行う。 ●「おなじ」に安心し、「ちがい」に不安を感じた経験はあるだろうか。それはなぜだろう。 3 ワーク2を個人で行ったあと、グループで話し合う。 ●尊重されるべき「ちがい」、あってよい「ちがい」、あってはならない「ちがい」は、何が違うのだろうか。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。 ●あなたは、自分も周りもみんな幸せに生きられる世の中にするために、特に、どんなちがいを尊重し、どんなことをおなじにして生きていこうと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 「あってよいちがい」と「あってはならないちがい」を判断する際、本当に幸福な社会をつくるために、みんなにとってどうか、今だけでなく未来はどうか、立場や時を変えて考えている。 【自分ごととして考える】 様々な「ちがい」について、思いこみにとらわれることなく、自分の家庭や所属する集団を振り返ったり、自分がこれからできる行動に思いをめぐらせたりしながら、考えを深めている。	社会	目標10 目標16
	19 選ぶということ 「学校や社会の一員として」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「自分たちの代表を選ぶ」ことの意味について考えるを通して、社会参画の意識を高め、学校や社会をよりよくするために主体的に関わっていきこうとする実践意欲と態度を育てる。	1 選挙について知っていることを出し合う。 ○学校や社会の一員として、どんなことができるだろう。 2 「選ぶということ」を読み、自分たちの代表を選ぶということについて話し合う。 ●あなただったら、修一、秀人、智美のうち誰に投票するだろうか。理由も含めて話し合おう。 ●自分たちの代表を選ぶとは、どういうことだろう。 3 集団の一員として、「代表を選ぶ」ということにどのように関わっていきかかえる。 ●集団の一員として、あなたは「代表を選ぶ」ということにどのように関わっていききたいだろうか。	【多面的・多角的に考える】 候補者の演説をもとに様々な選ぶ基準について話し合い、選ぶということについて多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の選択や投票行動が及ぼす影響について考え、積極的に社会に関わろうとする意欲を高めている。	社会、特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
11 月 ④	20 全ての人に安心、 安全な水を 「新しいものをつくり出 す」 【A 真理の探究、創造】	1	水質浄化剤を発明した小 田兼利さんの生き方を通 して、真理を探究し続け ることの大切さやそれを支 える思いについて考え、工 夫して新しいものを創造 していこうとする実践意 欲と態度を育てる。	1 新しいものをつくり出した人にはどのような人たちがいるかを考える。 ○「新しいものをつくり出した人」には、どんな人がいるだろう。 2 「全ての人に安心、安全な水を」を読み、小田さんの思いを考える。 ●小田さんは、なぜ発明を諦めなかったのだろう。 3 小田さんの生き方を通して、自分について考える。 ●小田さんは、自分の思いがよい結果につながらないとき、どのようなことを大切 にしたのだろう。 ●新しいものをつくり出すために必要なこととはなんだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 小田さんの「誰かのために何かをしたい」と いう思いや、想像力をはたらかせながら探 究し続ける姿を通して、新しいものを創造 するために必要なことは何か、多面的・多角 的に考えている。 【自分ごととして考える】 真理を探究し続けることの大切さや工夫し て新しいものを創造していこうとする思い について、困難に負けず研究を続けた小田 さんの姿と自らの経験を重ねながら、考え を深めている。	社会、理科、 保健体育	目標3 目標6
	21 レイ之助が望んだ こと 「かけがえのない命」 【D 生命の尊さ】	1	愛犬の治療をする道を選 んだ飼い主の、「自分の判 断はどうだったのか」とい う葛藤を通して、生命につ いて多面的・多角的に考 え、かけがえのない命を尊 重しようとする心情を育 てる。	1 生き物の飼い主として「命」を考える視点をもつ。 ○これまでに生き物の世話をしたことがあるだろうか。 2 「レイ之助が望んだこと」を読み、由実さんの思いを通して「命を大切にす る」とはどのようなことなのか考える。 ●レイ之助君が歩けなくなり介護生活が始まった時、由実さんはどのような思い だっただろう。 ●治療の道を選んだ由実さんが「彼は何を望んでいたのか？」と常に思っていたの はなぜだろう。 3 命を大切にすることについて、考えたことをまとめる。 ●命を大切にするとどのようなことなのだろう。	【多面的・多角的に考える】 命を大切にするとどのようなことか、他 者の意見を手がかりに自分の考えを広げよ うとする意欲をもち、様々な側面から考え を深めている。 【自分ごととして考える】 レイ之助とともに生きる家族としての立場 で、レイ之助にとつての幸せはなんだったの かを考え、飼い主の責任として何を優先させ ようと思うか、自分なりの考えを深めている。	特別活動	
12 月 ③	22 幸せな仕事って 「働くことの意味」 【C 勤労】	1	職業聞き取り学習の話か ら、職業選択のあり方や働 くことの意味を考えるこ とを通して、自分の仕事に 誠実に取り組むことのす ばらしさに気づき、自分の 将来の勤労について考え ようとする実践意欲と態 度を育てる。	1 将来就きたい仕事について考えを出し合う。 ○あなたは、将来どんな仕事に就きたいと思っているだろうか。 2 「幸せな仕事って」を読み、働くことの意味について考える。 ●働くことにはどんな意義があると思うか、みんなで出し合おう。 ●太陽を見ながら、光太郎はどんなことを考えていたのだろう。 3 働くこととどのように向き合っていくか、考えをまとめる。 ●「幸せな仕事にめぐり合う」には、どんなことが必要だろうか。	【多面的・多角的に考える】 自己実現、社会の一員としての役割、信頼や 喜びを得るなどの様々な面から、働くこと の意味について考えている。 【自分ごととして考える】 光太郎の気持ちを共感的に捉え、自分自身 の進路や、将来の職業に対する不安や葛藤 に対して、広い意見を受け入れて考えてい る。	社会、特別活 動、総合的な 学習	目標8
	23 富士山を守ってい くために 「豊かな自然を守る」 【D 自然愛護】	1	富士山が世界文化遺産に 登録された経緯を知り、人 間と自然との関わりにつ いて考え、自然を守るため に自分にできることを探 していこうとする実践意 欲と態度を育てる。	1 自分の好きな自然を思い描く。 ○自然を大切にすると、どういうことだろう。 2 「富士山を守っていくために」を読み、自然を守ることについて話し合う。 ●自然の雄大さに感動した経験を出し合おう。 ●富士山が「世界文化遺産」であることについてどう思うか、話し合おう。 3 自然を守るために自分たちにできることを考える。 ●あなたの守りたい身近な自然について、できることを考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 富士山が世界文化遺産に登録されたこと について、その経緯や意義、人々のはたらき かけなど多面的・多角的に考え、人間が自然 と関わることや自然を守ることの価値につ いて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 富士山の自然が人々の努力によって守られ ていることへの気づきから、身近な自然に 対して自分にできることは何か、能動的な 姿勢で考えている。	理科、社会、 総合的な学 習	目標11

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
1 月 ③	24 伝えたい味 「郷土文化の継承」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	1	すまんじゅうを伝え残そうとする「私」の思いを考 えるを通して、先人や 地域と伝統文化のつな がりに気づき、郷土の発展 のために自分が寄与しよ うとする実践意欲と態度を 育てる。	1 身近な伝統や文化について知っていることを出し合う。 ○「地域の文化」と聞いたとき、どんなことを思い出すだろうか。 2 「伝えたい味」を読み、地域の伝統や文化を守ることの難しさと大切さにつ いて話し合う。 ●「私」は、どんな思いで「すまんじゅう」を残そうとしているのだろうか。 ●その土地に昔からある文化を守っていくことは、なぜ大切なのだろう。 3 地域社会の一員として自分がどのように関わっていきたいか、考えをまとめる。 ●地域の伝統文化を守っていくために、自分にできることはなんだろうか。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統文化を守ることの大切さにつ いて、「私」の感じ方や考え方を理解しながら 考えている。 【自分ごととして考える】 地域社会の伝統文化を守っていくために必 要なことについて、自らの生活や身のまわり の人たちとのつながりと重ねて考えている。	技術・家庭、 総合的な学 習	目標 11
	25 雅司のとまどい 「友達のよいところ」 【B 友情、信頼】	1	互いのよさを認め合う友 情について話し合うこと を通して、友達関係を築く ために大切なことを考え、 互いに励まし合い、高め合 おうとする実践意欲と態 度を育てる。	1 友達のよさについて考えを出し合う。 ○友達のいいところって、どんなところだろう。 2 「雅司のとまどい」を読み、友情や信頼関係を築くために大切なことにつ いて考える。 ●雅司、由紀、美佐の三人は、一緒にいることで、それぞれにどんなよいことがあ るだろう。 ●お互いのよさを認め合う友情を築くためには、どんなことを大切にしたらいい だろう。 3 友達のよさを見つけ合う。 ●友達のいいところを見つけ、話し合ってみよう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の立場に立ったり、自分の周りの 友達関係を想起したりして、互いのよさを 認め合う友情を築くために大切なことにつ いて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 互いの個性を肯定的に捉え、よさとして伝 え合う活動を通して、互いを信頼し励まし 合うことのよさを実感し、友情を築いてい こうとする意欲を高めている。	特別活動	
2 月 ④	26 それは個性 「自分の個性に自信をも つために」 【A 向上心、個性の伸長】	1	ミズナと友達の会話をも とに、個性とは何かを考 えるを通して、人との違 いを前向きに捉え、自信を もって生きていこうとす る実践意欲と態度を育て る。	1 自分のことについて考える。 ○他の人と違うことって、「変」なのだろうか。 2 「それは個性」を読み、個性を伸ばすとはどういうことか考え、話し合う。 ●あなたがミズナのクラスメイトだったら、ミズナの個性をどう考えるだろう。そ れはなぜだろう。 ●周りから「ズレてる」ことには、どんなよさがあるだろう。 3 自分自身や周りの人のよさを伸ばすために大切なことについて、考えをまと める。 ●自分や友達の個性をまるごと受け止めるために、どんなことを大切にすればよ いだろう。	【多面的・多角的に考える】 ミズナの「変」を「すごい」「新鮮みがあって サイコー」と考えるクラスメイトの視点か ら、自他の個性を多面的・多角的に捉え、個 性を伸ばすことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 ミズナのクラスメイトの前向きな考え方に 共感し、自他の個性をどのように捉え伸ば していくか、肯定的に考えようとする意欲 を高めている。	保健体育、特 別活動	
	27 よく生きること、 よく死ぬこと 「限りある命を生きる」 【D 生命の尊さ】	1	生きたいと願い、死ぬこと への恐怖や悔しさを抱え ながらも死と向き合い、人 生を全うしたヨッちゃん の姿から、よく生きるとは どういうことかを考え、周 囲への感謝をもってかけ がえのない生命を大切に 生きていこうとする心情 を育てる。	1 「命を大切に生きる」とはどういうことか考える。 ○楽しいことだけでなく、つらいこともたくさんあるのに、人はなぜ生きるのだら う。 2 「よく生きること、よく死ぬこと」を読み、「生」と「死」について考える。 ●人は、なんのために生まれ、なんのために今を生きているのだろうか。 3 「よく生きる」ために必要なことを考える。 ●「よい生」と「よい死」とは、どのようなことなのだろうか。 ●「よく生きる」ために、大切なことはなんだろうか。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 生命には限りがあることを念頭におきなが ら「生まれてきたこと」「生きること」「死ぬ こと」が自分にとってどのようなものなの か、「よく生きるため」「よく死ぬため」には 何が必要なのか、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 周囲への感謝をもって生きることの大切さ やかけがえのない生命を大切に生きてい こうとする態度について、ヨッちゃんの姿と 自らの経験を重ねながら考えを深めている。	保健体育	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
2 月 ④	28 私に宇宙のプレゼント 「生きることの喜び」 【D よりよく生きる喜び】	1	病と闘う「私」の姿について考えることを通して、弱さを乗り越え、強く生きようとする気持ちの大切さを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育てる。	1 生きていてよかったと思うことを考える。 ○生きていることを実感し、うれしく思うのは、どんな時だろう。 2 「私に宇宙のプレゼント」を読み、生きていく中で、よりよい自分の生き方が想像できない時の心情を考える。 ●「私」は、どうして透析をすることに反抗したのだろう。 ●「私」は自分の将来を考えて不安になった時、どうしたのだろう。 3 自分の弱さを克服し、強く生きていくために必要なことを考える。 ●人間として強く生きていくために必要なことは、どのようなことだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「私」の「強く生きたい」「生きることがつらい」という葛藤を捉えながら、「私」、家族、臓器提供者などの多様な視点から、強く生きるために必要なことや生きる喜びについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 弱さを乗り越えること、強く生きようとする、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心について、病と闘う「私」の姿と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	理科	
3 月 ②	29 “庶民の笑い”を絶やさない ～落語家・桂米朝さんの生涯～ 「日本の伝統と文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	上方落語の復活に尽くした桂米朝さんの生き方から、伝統や文化を継承するために必要なことについて考え、日本のよさを感じその発展に寄与しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 落語について知っていることを出し合う。 ○落語にはどんな魅力があるだろう。知っていることを発表し合おう。 2 “庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生涯～を読み、伝統や文化を継承することについて考える。 ●上方落語という伝統のバトンを渡すために、米朝さんはどんなことをしたのだろう。 ●米朝さんが上方落語という伝統を復活させ継承しただけでなく、新しさも盛り込んでいったのは、なぜだろう。 3 日本の伝統と文化の継承について考えたことをまとめる。 ●日本でもともに暮らし、日本のよさを感じて文化や国をつくっていく人間として、どんなことができるか考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 米朝さんの努力を理解し、伝統や文化を継承することの大切さやその時に必要なことについて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 日本のよさを感じ伝えるために、自分がその担い手としてできることを、身近なことから考えている。	国語、社会	
	30 オーロラの向こうに 「人の力の及ばないもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	自然の前で自らの有限性を痛感する「僕」の心境について思いをはせることを通して、人間の力を超えたものとの向き合い方に気づき、自然を畏れ、敬おうとする心情を育てる。	1 「自然」について抱いているイメージを出し合う。 ○「自然は、とても○○だ」と表現するとしたら、あなたはどうか答えるだろう。 2 「オーロラの向こうに」を読み、自然に対して畏敬の念をもつ場面について話し合う。 ●「僕」にとって、自然とはどのようなものなのだろう。 ●「自然は人間の思いどおりになんかならない」と感じたことがあるだろうか。その時のことを思い出そう。 3 今後、自分がどのように自然と向き合っていくべきか、考えをまとめる。 ●自然を敬うとは、どういうことだろう。	【多面的・多角的に考える】 人間の力を超えた自然の厳しさと美しさについて、他の人の意見を理解しながら、より具体的に考えている。 【自分ごととして考える】 自然と謙虚に向き合い、その中で自らの生活をより豊かなものにするために必要な姿勢について、自らの経験と重ねて考えている。	理科、特別活動	
補充 教材	31 古びた目覚まし時計 「時間の価値」 【A 節度、節制】	1	時間の大切さに対する「僕」の気づきを共感的に捉えることを通して、自律的な生活を送ることのよさやそのために必要なことは何かを考え、望ましい生活習慣を身につけようとする実践意欲と態度を育てる。	1 これまでの自分の生活について振り返る。 ○毎日の生活のリズムについて、大切にしていることはあるだろうか。 2 「古びた目覚まし時計」を読み、望ましい生活習慣について考えたり、話し合ったりする。 ●父が「僕」に「時間は元に戻すことはできないんだ。」と言ったのは、なぜだろう。 ●「心のベル」とは、なんだろう。あなたは「心のベル」をもっているだろうか。 ●一日の生活を点検してみよう。見直したい点はあるだろうか。 3 これからの自分の生活をどのようにしていきたいか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「心のベル」をもつことの大切さについて、他の人の考えと照らし合わせながら、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 父から「僕」が聞いた話や「僕」が感じ取ったことを共感的に捉え、自らの生活習慣と重ねながら、望ましい生活について深く考えている。	保健体育、技術・家庭	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
補 充 教 材	32 「夢」をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の 復元に向けた思い～ 「郷土に対する誇り」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	1	夢童由里子さんの名古屋 城本丸御殿の復元にかけ た思いを考えることを通 して、先人への感謝と郷土 に対する認識を深め、郷土 に対して誇りや愛着をも って主体的に関わろうと する実践意欲と態度を 育てる。	1 『「夢」をつなぐ』ということについて考える。 ○「夢をつなぐ」とは、どういう意味だろう。 2 『「夢」をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の復元に向けた思い～』を読み、郷土 を愛する態度について話し合う。 ●本丸御殿の復元が夢童さんの「夢」となったのはなぜだろう。 ●「新たな心の支え」とは、どういうことだろう。 3 地域の一員として自分がどのように関わっていききたいか、考えをまとめる。 ●あなたは、自分の郷土にどのように関わっていききたいだろうか。	【多面的・多角的に考える】 夢童さんの、本丸御殿復元に向けた思いと 行動について多様な視点をもって考えると ともに、それを支え、守ろうとする人々の心 情を理解し、「夢をつなぐ」ことについて考 えを深めている。 【自分ごととして考える】 身近な地域や郷土のよさを再発見し、それ を受け継ぎ発展させることの価値につい て、自らの体験や日常生活と重ねながら、未 来に目を向けて深く考えている。	社会、美術	目標 11 目標 17
	33 マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つ けたもの～ 「思いやりの尊さ」 【B 思いやり、感謝】	1	震災後の地域の人々によ る共助について考えるこ とを通して、他者を思いや る尊さとすばらしさを感じ、人間愛の精神を深めよ うとする実践意欲と態度 を育てる。	1 熊本地震など大きな災害について知っていることを出し合い、概要を知る。 ○もしも大きな災害が身近で起こったら、あなたを支えてくれるのは誰だろう。 2 「マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つけたもの～」を読み、震災のあと に出会った「マンションの椅子」について話し合う。 ●椅子を置いた人は、どんな思いで置いたのだろう。 ●あなたはこの椅子にどんな名前をつけるだろうか。 3 思いやりの尊さや感謝の心がもつ力の大きさに気づき、身近に同じような価 値があるものはないか考える。 ●この椅子は誰を幸せにしたらろう。あなたの周りにも、この椅子と同じように誰 かの思いがこめられたものはあるだろうか。	【多面的・多角的に考える】 マンションの階段の近くに置かれた椅子に どんな名前をつけるか考えることを通し て、この椅子がもつ様々な道徳的価値に気 づき、他者を思いやる尊さやすばらしさ について思いを深めている。 【自分ごととして考える】 思いやりや感謝の心が人と人をつなぎ を支えていることに気づき、そのようなこ とが生身のまわりにはないか、自らの経験 を振り返って考え、自分ごととして捉え ている。	特別活動	
	34 もったいない 「感謝の心をもつ」 【B 思いやり、感謝】	1	「もったいない」ことにつ いて考えることを通して、 身近なものや今ある生活、 周囲からの支えの「ありが たさ」に気づき、感謝の気 持ちをもって毎日を大切 に生きようとする実践意 欲と態度を育てる。	1 「もったいない」と思うことを出し合う。 ○毎日の生活の中で「もったいない」と思うのは、どんなことだろう。 2 「もったいない」と思うことから、日頃自分が受けている恩恵に気づかせる。 ●「もったいない」という言葉には、どのような心が含まれているのだろう。 ●あなたが「もったいない」と思うことには、どんなことがあるだろう。もう一度 考えてみよう。 3 感謝の心を自分のこれからの生き方にどうつなげていききたいか、考えをまと める。 ●「もったいない」について考えたことや、これからの生活にいかしていききたいこ とをまとめよう。	【多面的・多角的に考える】 「もったいない」にこめられた様々な心 を理解し、物的損失だけでなく、物にこめ られた人の思いや時間などに対する感謝 や敬愛の念について考えている。 【自分ごととして考える】 「もったいない」ことを考えることを通 してそれらがあることの「ありがたさ」に 気づき、感謝の心をもって生きよう とする意欲を高めている。	技術・家庭、 総合的な学 習	目標 12
	35 僕の応援歌 「家族のきずな」 【C 家族愛、家庭生活の充 実】	1	嘉成さんに対して厳しく、 粘り強く療育に励んだ有 希子さんの思いや、その思 いを嘉成さん自身がどう 受け止めているのかを考 えることを通して、家族の 一員としての自覚をもち、 充実した家庭生活を営も うとする心情を育てる。	1 家族のつながりを感じた場面について、経験を出し合う。 ○家族と友達との違いってなんだろう。 2 「僕の応援歌」を読み、家族のつながりに必要なことについて考える。 ●嘉成さんが、今もお母さんが心の中にいると思えるのはなぜだろう。 ●豊かな家庭生活を営んでいくうえで大切なことはなんだろう。 3 家族の一員としてもつべき姿勢とはどのようなものか、考えをまとめる。 ●現在、そして将来の家族の一員として、どんなことを心がけていききたいと思 うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 愛情を注いだ有希子さんの気持ちを捉え、そ の愛情を受け取った嘉成さんの心情に思い をめぐらせながら、豊かな家庭生活に必要 な諸要素について、様々な視点から考 えている。 【自分ごととして考える】 嘉成さんと有希子さんのつながりを分析 的に捉え、自分と自分の家族との関係に 重ね合わせることで、自分が受けた恩 や、家庭生活において大切にすべ き心情や態度について考えを深め ている。	美術、技術・ 家庭	